

「つまめる水」不思議

京都薬科大 水を題材に実験

大学の実験室で子どもたちが科学者気分を味わうイベント「身近な夏の不思議体験」が

区内の小学4～6年に向けて開いている。

27日、京都市山科区の

海藻のぬめりのもと

京都薬科大で開かれた。

地元の小学生約

90人が身近な「水」を

持つ。実験ではアルギ

ン酸水溶液をさじに入

れ、カルシウムを溶か

し、指でつまめる水

や高吸水性ポリマー

の仕組みについて学ん

だ。

同大学と山科区「は

ぐくみ」ネットワーク

実行委員会が子どもた

ちに科学に興味を持つ

触を確かめていた。

膜を破ったりして、

つまめる水の独特の感

触を確かめていた。



音羽川小6年中帆織さん(11)は「柔らかな不思議な感触がしたので面白かった」
(佐々木千奈)

薄い膜で覆われた水を指でそっとつまむ参加児童
(京都市山科区・京都薬科大)

大学ラボで科学者気分